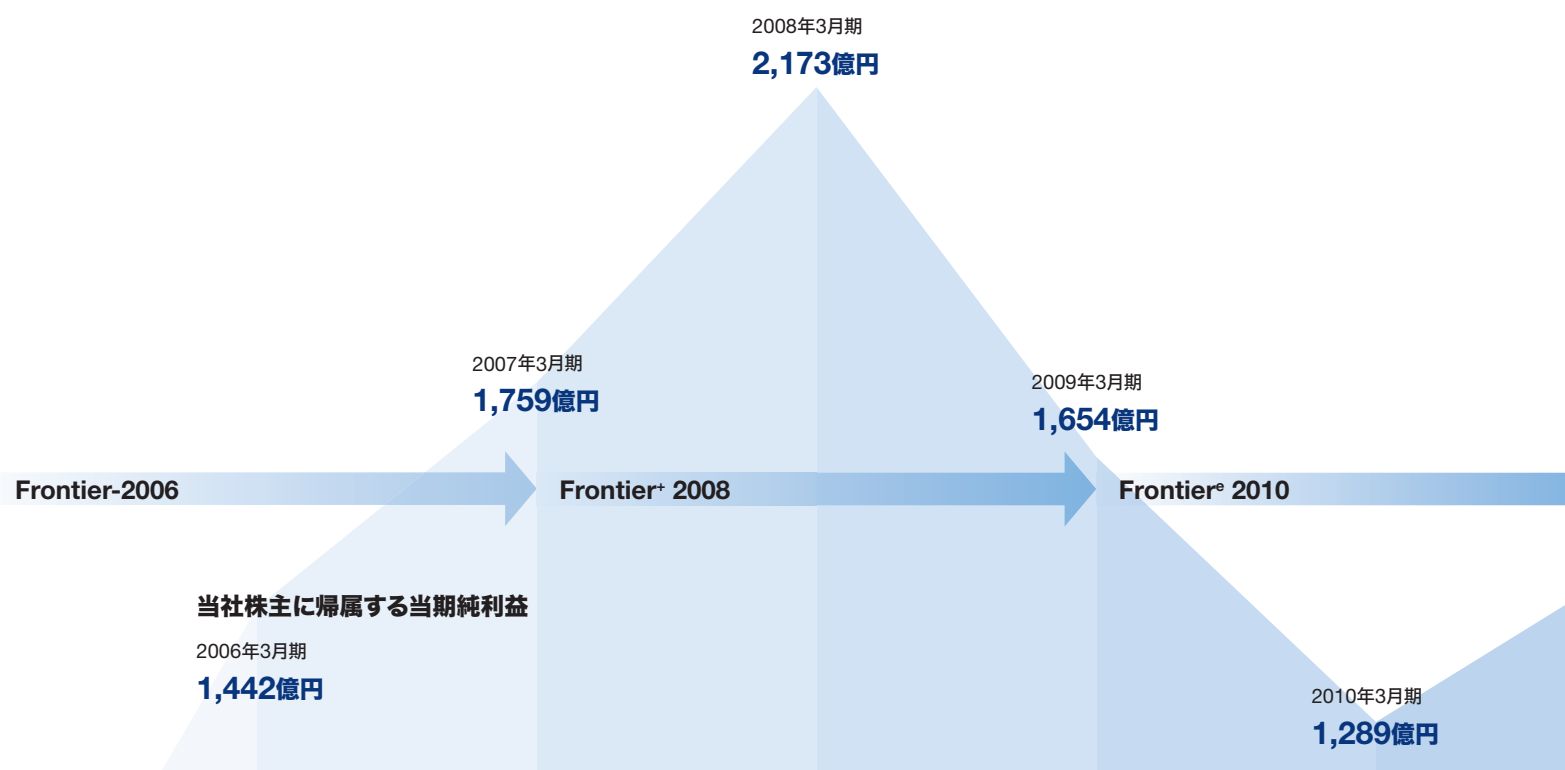


THE KEYWORDS FOR FURTHER GROWTH

NEW GROWTH STAGE

— 新たな成長ステージ

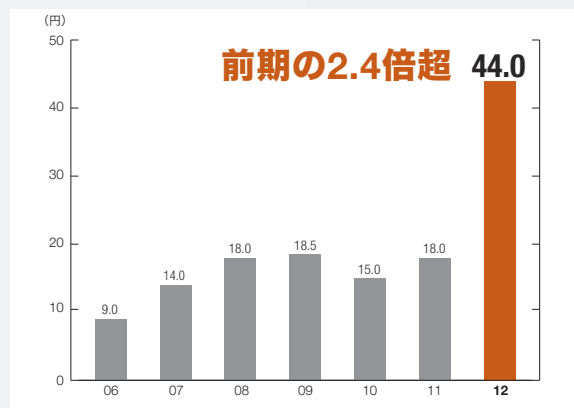


当社株主に帰属する当期純利益

2006年3月期
1,442億円

配当金

Brand-new Deal 2012 計画期間に見直した配当方針に基づき、2012年3月期は、前期の2.4倍以上の配当を実施しました。



3月31日に終了した連結会計年度
(注) 金額は1株当たり

当社株主に帰属する当期純利益

史上最高益 (2012年3月期)

3,005億円

当社株主帰属当期純利益は、史上最高の3,005億円を達成、9年振りに日本の総合商社3位の座に返り咲きました。

Brand-new Deal 2012 伊藤忠商事は 新たな成長ステージへ

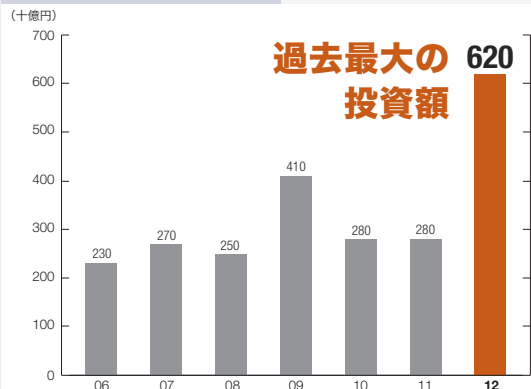
Brand-new Deal 2012

2011年3月期
1,611億円

2012年3月期の伊藤忠商事は、本来の実力を発揮し大きな飛躍を遂げました。これからの当社は新しい成長ステージでの更なる収益成長を目指していきます。

投資額

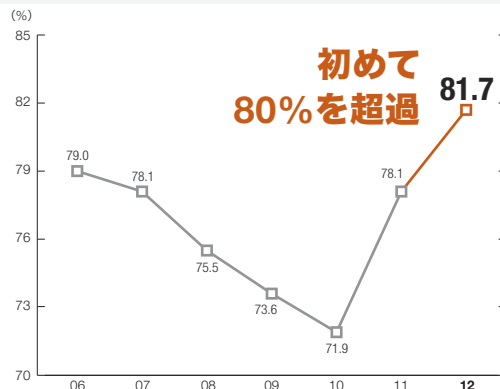
計画初年度で前計画の2カ年分を超えるグロス6,200億円の投資を実行しました。初年度の進捗を踏まえ、2年間の投資額を8,000億円から1兆円に修正しました。



3月31日に終了した連結会計年度

黒字会社率*

低収益事業会社の収益力改善、EXITを前倒しで加速度的に推し進めた結果、黒字会社率は、初めて80%を超えました。



3月31日に終了した連結会計年度

* 連結対象会社数に占める黒字会社数の比率

THE KEYWORDS FOR FURTHER GROWTH

STRENGTHENED FOOTHOLD

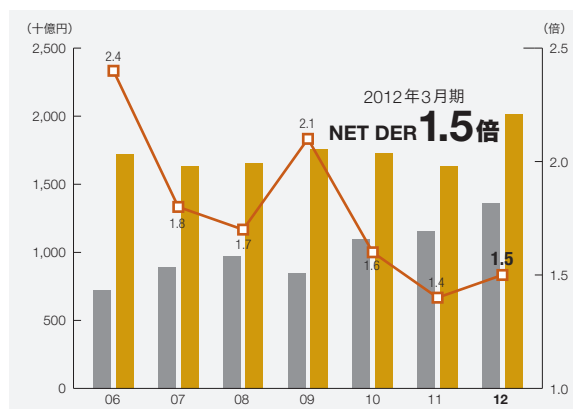
— 鍛え上げた財務基盤

攻めを支える強固な足場

健全性指標－NET DER

当社は、NET DERを財務体質管理の重要指標と定め、有利子負債の削減と利益の積上げによる連結株主資本の増強を通じた財務体質の強化を推進してきました。2012年3月期は、過去最大規模の投資を実行しましたが、NET DERは1.5倍となり、健全な財務体質を維持しています。

株主資本／ネット有利子負債／NET DER



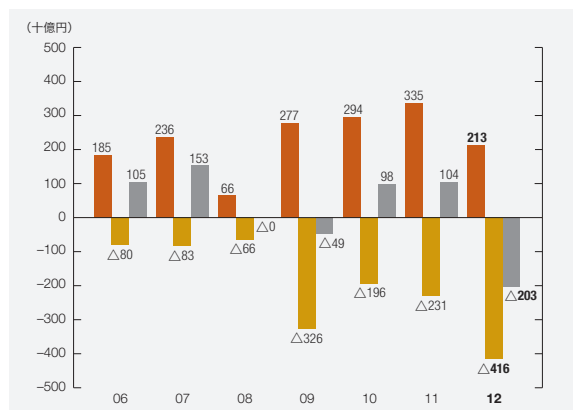
■ 株主資本 (左軸) ■ ネット有利子負債 (左軸) - NET DER (右軸)
3月31日現在

積極投資を支える キャッシュ・フロー創出力

営業活動によるキャッシュ・フロー

当社は、利益の積増しに加えて、客先からの資金回収を厳格に管理し、持分法適用会社からの配当性向を高める等によって、営業活動によるキャッシュ・フローの創出に努めてきました。引続き営業活動によるキャッシュ・フローの最大化、及び投資活動によるキャッシュ・フローのコントロールに努めていきます。

キャッシュ・フロー



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー
■ フリー・キャッシュ・フロー
3月31日に終了した連結会計年度

THE KEYWORDS FOR FURTHER GROWTH

BALANCE

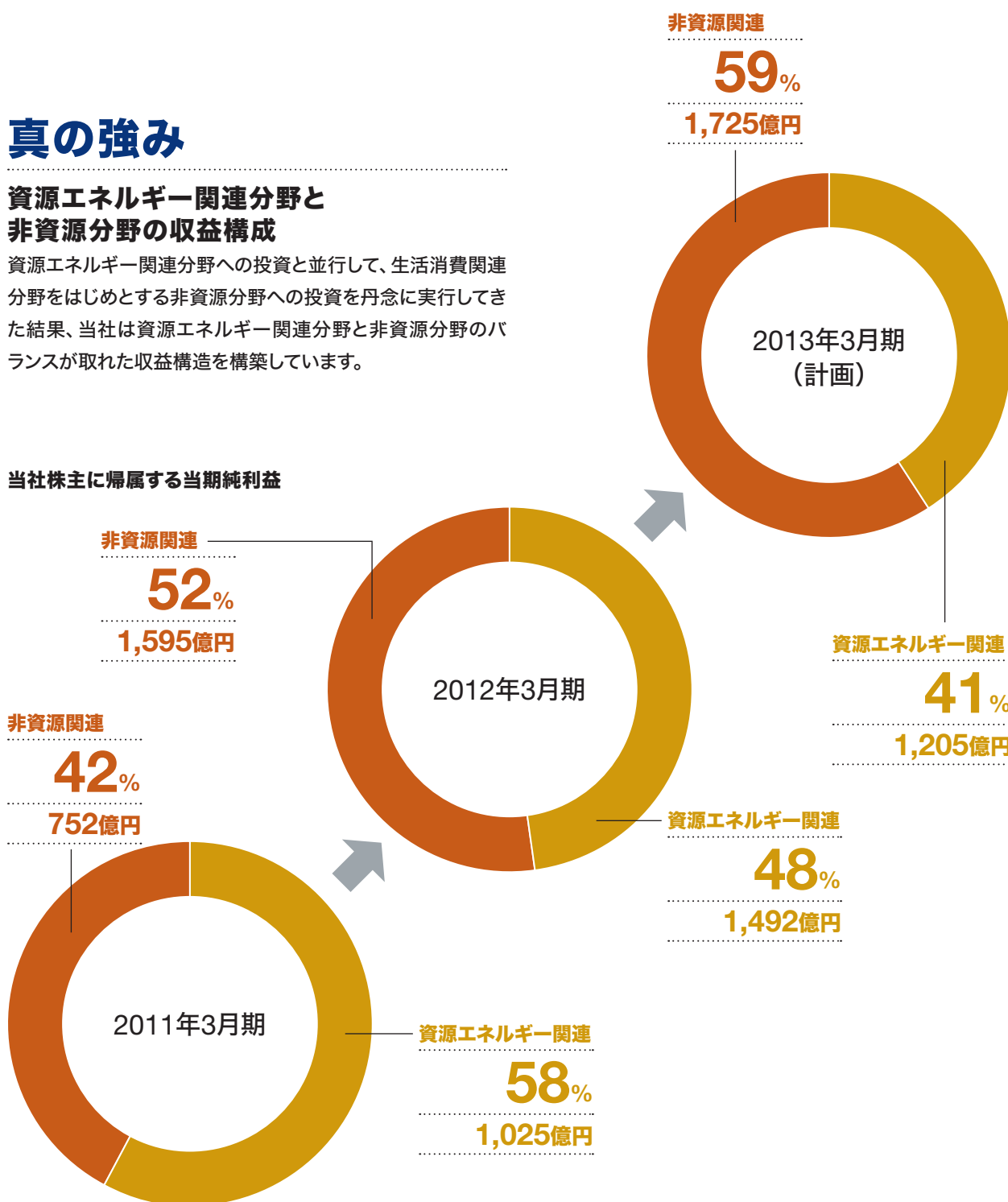
— バランスの取れた収益構造

真の強み

資源エネルギー関連分野と 非資源分野の収益構成

資源エネルギー関連分野への投資と並行して、生活消費関連分野をはじめとする非資源分野への投資を丹念に実行してきた結果、当社は資源エネルギー関連分野と非資源分野のバランスが取れた収益構造を構築しています。

当社株主に帰属する当期純利益



(注1) 構成比は本社口関連(修正消去等)を除くビジネスセグメント合計値を100%とする。

(注2) 鉄鋼製品事業は非資源関連に含む。